

KSプライマーⅡ 説明書

鹿島道路株式会社

本製品の使用、取扱い、保管については、必ず説明書及び安全データシート(SDS)をお読み下さい。

第1章 安全上の注意

1. 注 意

1-1 作業前の確認

取扱い作業に際しては、説明書、安全データシート(SDS)などで、注意事項を確認して下さい。

1-2 取扱い場所



(1)火気のあるところでは、使用しないで下さい。

(2)取扱い作業所には、局所排気装置を設けて下さい。

1-3 取扱い方法



(1)取扱い中は、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスク又は送気マスク、保護手袋、保護メガネ、前掛け等を着用して下さい。

(2)容器からこぼれた場合には、布(ウエス)で拭きとって、安全な場所に廃棄して下さい。

(3)取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行って下さい。

(4)5℃以下では、極端に硬化が遅くなる為、使用しないで下さい。

1-4 応急措置

(1)作業衣等に付着した場合には、その汚れをよく落として下さい。

(2)皮膚に付着した場合には、多量の石鹼水で洗い落とし、痛み、又は外観に変化がある時には、医師の診断を受けて下さい。

(3)目に入った場合には、多量の水で洗い流し、早く医師の診断を受けて下さい。

(4)蒸気、ガスを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。

(5)誤って飲み込んだ場合は、早く医師の診断を受けて下さい。

1-5 保管方法



(1)密栓の上、危険物倉庫に保管するか、指定数量以下の場合は、火気のない5～35℃の直射日光の当たらない場所に保管して下さい。

(2)子供の手の届かない所に保管して下さい。

1-6 接着用以外の使用禁止

(1)本来の用途以外には、使用しないで下さい。

1-7 廃棄方法



(1)河川等の環境中に投棄、及び漏出させないで下さい。

(2)廃棄物の処理、及び清掃に関する法律、及び都道府県条例等に基づき、許可を受けた処理業者に委託して下さい。

2. 法 規 制

(1)消防法

KSプライマーⅡ (主剤)	KSプライマーⅡ (硬化剤)
第4類第1石油類 危険等級Ⅱ	第4類第1石油類 危険等級Ⅱ

(2)労働基準局長通達による表示

KSプライマーⅡ (主剤)	KSプライマーⅡ (硬化剤)
エポキシ樹脂	変性ポリアミドアミン

(3)毒物及び劇物取締法

KSプライマーⅡ (主剤)	KSプライマーⅡ (硬化剤)
非該当	非該当

3. 特 徴

- ・高強度：KS ボンドとの組み合わせでエポキシ樹脂特有の強靱な接着性を示します。
- ・耐水性：3 日間の 98℃熱水浸漬試験(JIS K 6857 処理条件 E)でも、接着強度低下を起こしません。
- ・耐熱性：70℃の温度下でも十分な接着強度を示します。

4. 用 途

KSボンド用プライマー(研掃後鋼床版面の保護、錆止め)

5. 性状と物性

項目		性状と物性	備考
外観	主剤	灰色液体	異物混入無し
	硬化剤	褐色液体	異物混入無し
混合比(主剤:硬化剤)		2:1	重量比
粘度(23℃)	主剤	0.06±0.02Pa・s	
	硬化剤	0.005±0.003Pa・s	
乾燥時間(23℃)		4時間以内	ドライングレコーダー

※項目並びに数値は、変わる事があります。

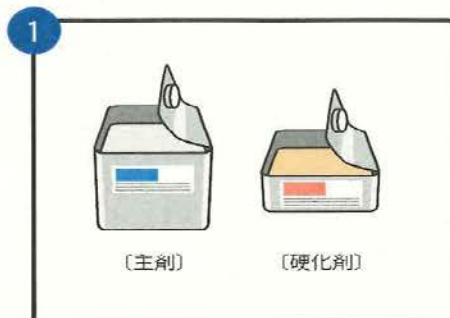
第2章 使用上の注意

1. 標準使用方法

- (1)主剤には防錆材が入っており、比重差により沈降が生じている場合があるので、電動攪拌機により約 1 分間混合します。
- (2)主剤／硬化剤を所定の混合比(2／1:重量比)で配合して、均一になるように電動攪拌機等で十分に攪拌します。
- (3)打継ぎ箇所に所定量のKSプライマーⅡを均一に塗布します。標準塗布量は0.30kg/㎡です。鋼床版の場合は、0.15kg/㎡を2回に分けて1回目の指触乾燥を確認してから2回目を塗布します。
- (4)指触乾燥後、KSボンドを塗布します。KSボンドの塗布は、KSプライマーⅡの塗布後、必ず一週間以内に実施してください。

その他加筆事項

- ・被着体を一種ケレンを行った後に塗布してください。
- ・本商品が溶剤系材料であるため、アスファルト混合物に塗布すると溶解します。塗布することは避けてください。



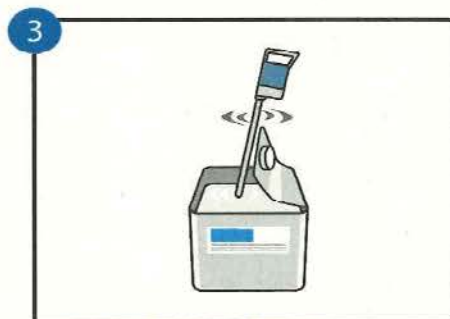
▶主剤・硬化剤の開缶

皮スキ等を用い、主剤・硬化剤ともに缶の3辺を大きく開缶します。



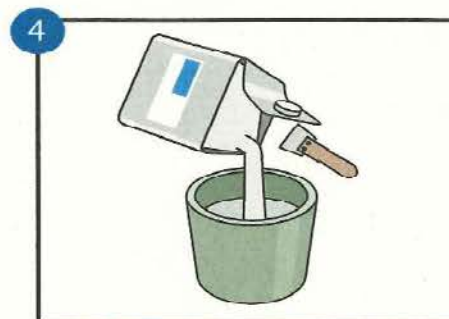
▶硬化剤を必ず他に用意したバケツに移す

ゴムヘラ等を用い、缶に残らないよう、隅々まで十分に掻き出します。



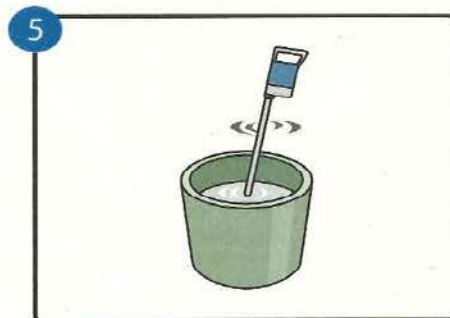
▶主剤の電動攪拌機による予備攪拌

主剤には比重の大きい防錆材が入っているので、分離を解消するために予備攪拌(約1分)を実施して下さい。



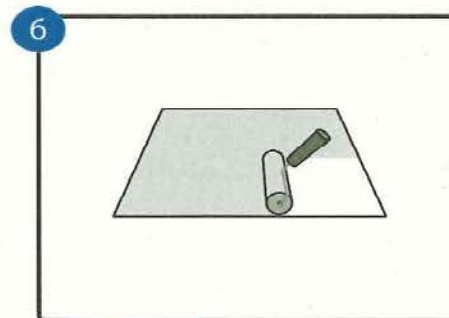
▶主剤の予備攪拌終了後、ただちに②の硬化剤が入ったバケツに添加する

硬化剤と同様にゴムヘラ等を用い、缶に残らないよう、隅々まで十分に掻き出します。



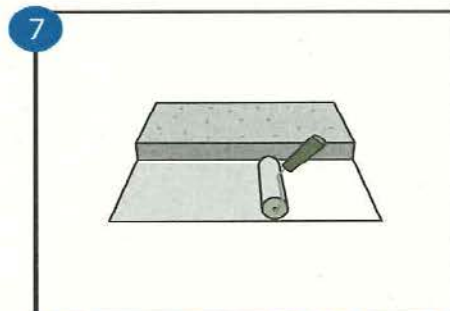
▶硬化剤と主剤が入ったバケツを電動攪拌機で混合する

混合時間は約2分です。均一なライトグレーになるまで低速で十分に混合します。

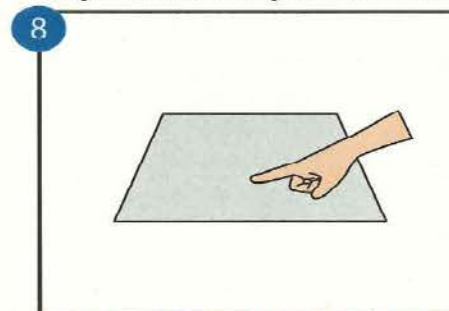


▶被着体面に塗布する

被着体は、一握ケレン相当の研掃処理を行い、十分にアスファルト、塗膜防水が除去されたことを確認したうえ、ローラーばけ等で塗布して下さい。塗布方法は、 $0.15\text{kg}/\text{m}^2$ の2回塗り(計 $0.3\text{kg}/\text{m}^2$)を標準とします。



▶既設アスファルト舗装が被着面に隣接している場合には本プライマーが付着しないように注意して塗布する
KSプライマーⅡは、溶剤系材料が入っており、アスファルトが溶解しますので、アスファルト舗装には塗布しないで下さい。(溶解物が本プライマーと混ざりますと接着不良の原因となります。)



▶KSプライマーⅡが乾燥するまで養生(静置)する(指で触ってベタつかない程度)

気象条件によって異なりますが、気温 20°C で2時間程度を目安に乾燥するまで静置して下さい。乾燥後、次工程に入して下さい。

2. 梱包・容量

15kgセット(主剤:10kg、硬化剤:5kg)



3. 使用期限

- ・主 剤 : 品質証明書に記載の試験日より3ヶ月以内に必ず使用してください(保管条件は1-5を参照)
- ・硬化剤 : 品質証明書に記載の試験日より3ヶ月以内に必ず使用してください(保管条件は1-5を参照)

記載した説明書の内容は、当社試験研究および調査によるもので、十分信頼しうるものと考えておりますが、被着材・使用条件により相違する場合がありますので、予め御需要家各位で試験等のご確認の上、ご使用下さる様お願い致します。

以 上